

ペーパーレス化へ！無理・無駄なく楽しいPTA活動に！～本町小学校～

本：本町小本部役員さん

広：市 P 連広報委員会

広：PTA 活動にサイボウズのクラウドサービス「kintone」を活用されていると伺いました。

導入した経緯など教えてください。

本：令和元年度に活動の見直しアンケートをとったところ、PTA 活動の問題点として『配布物の作成のために来校すること』『印刷に多額の経費がかかっていること』『情報共有をメールや、LINE 等で個別に行っていて PTA 全体の情報共有が難しいこと』等が浮かびあがってきました。そこで令和 2 年度から本格検討をし、対応人数やサポートの有無等、本町小 PTA の目的に合致するツールを検討した結果、「kintone」にしました。(別添比較表参照)導入後、半年程度かけてまずは PTA 役員と一部の先生方で試行し、令和 3 年度からは全 PTA 会員が利用できるようにしました。会員毎に ID、パスワードを発行しており、全会員の 4 分の 3 がログインをしている状況です。

広：コロナ禍をきっかけに導入したわけではないのですね。でも、今の世の中に合っていますね。具体的には、どんなことを行っていますか？

本：PTA 活動における配布物の作成、先生方への確認依頼、理事会の資料や議事録、活動スケジュールの共有、活動の出欠確認などです。「kintone」はスマートフォンにも対応しているので、紙で提出していただくよりタイムラグがなく、参加の有無もひと目で確認できます。また、資料の保管もできるので、次年度以降に引き継ぐ時も便利です。

広：「kintone」に保存されている資料等は、会員であればだれでも閲覧ができるのですか？

本：全会員が見られるもの、本部だけが見られるもの、委員会毎に見られるもの等、閲覧の権限は細かく分けております。また、広報紙の発行委員会については、委員会用スレッドに業者さんも入室できるように ID、パスワードを発行し、業者さんも資料やコメント投稿ができるようになることで、委員会活動が円滑に進められるようにしています。

広：それは便利な機能ですね。その他に、便利な機能はありますか？

本：学校行事や PTA 行事、PTA 会議室の利用をカレンダーに表示しており、学校行事、PTA 行事、PTA 役員行事、という感じで日時の確認ができるようにしていま

す。あとは、本町小では放課後パトロールを会員全体で当番でおこなっているのですが、パトロールの日程調整を「kintone」上でできます。紙面のみときに比べて、だいぶ処理が楽になりました。

広：確かにそれは便利かも！ところで、「kintone」を導入したことで紙資料は廃止できたのですか？

本：今の段階では、紙資料配布も併存させております。やはり、メールや LINE と同じで、役員の負担が軽減するということは、受け手にとっても手軽であると言えます。いわゆる既読スルーをされてしまう可能性が高まるということです。現在は「kintone」配信と紙媒体が併存していますが、今後の状況によりその比重は検討したいと思っています。コミュニケーションは対面が一番です。「kintone」、メール、LINE、電話等のコミュニケーション手段はありますが、状況に応じて使い分けすることが大事だと考えております。

広：そうですね。コミュニケーションというワードが出ましたが、対面会議の他にオンライン会議ツールが普及し始めていますが、本町小さんはどうですか？

本：「kintone」には会議ツールは無いので、Zoom を利用しています。現在は無料版を使っているため、長時間の会議のときは、一度退室し、再度入室する形をとっています。今後は有償版への切り替えをしたいと検討中です。

広：そうなんですね。本町小さんはオンライン会議にも積極的ですね。次に本町小 PTA さんの各委員会活動についてですが、どんな委員活動がありますか？

本：本町小では活動内容を明確にするために、ベルマーク委員会、バザー委員会、本町タイムス(広報誌)委員会など、活動内容がわかりやすい委員会名にし、仕事も名前のおりの活動としております。やることも分かりやすく、活動のイメージもできるので良いのですが、実際やってみると、委員会と委員会の間が存在した仕事が発覚し、その仕事は本部役員が処理をするという事態が発生しました。そういった、どこにも分類できない活動があることが分かったので、そこをどうするかが今後の課題です。

また、このご時世ならではの「IT 担当」という本部役員を新設しました。

広：IT 担当！それはすごいですね。本町小さんの更なる改革が起こるかもしれませんね。それでは、次に PTA 会費はコンビ

ニエンスストア振り込みで集金しているとお伺いしましたが、お話を聞かせてもらってよいですか？

本：はい。本町小では、大阪ガスファイナンスという会社の『あつ丸』という集金代行ツールを利用しています。「kintone」と同様に PTA のような任意団体でも利用ができます。手数料はかかっていますが、Excel で会員名簿を作成し(会員名のみ)、会員名と支払者番号とを、ひと付けする仕組みになっています。入金者、入金状況もひと目で確認でき、事務的作業の手間がかなり減りました。

広：現金を子供に持たせないのが安心ですし、便利ですね。ところで、先ほどまでオンライン会議をしていましたが、Wi-Fi 契約は PTA でされているのですか？

本：はい。Wi-Fi ルーターは、任意団体でも契約できる会社を選びました。契約データ量によりますが、安いものなら千円台のプランがあるので、負担はそれほどではないです。

広：それなら、学校規模に関わらず採用できそうですね！ペーパーレス化、PTA 活動の見直し等たくさんのお話が出て参考になりました。ありがとうございました。

取材に伺って見て、実はやってみたかったけどやり方が分からなかったことが、少し前に進み出しそうなお話をたくさん聞くことができました。学校にあったさまざまなツールを活用しながら、これからも無理や無駄なく継続的に活動していくことができたらいいですね。

※本取材の中で、特定の会社や機能の紹介をしていますが、あくまで本町小さんの活動の目的に合致したものとして紹介をしているものであり、特定の企業を宣伝する趣旨ではありません。

【参考画像】



オンライン会議1（メイン画面）



オンライン会議2（現地参加者）



PTA用Wi-Fi



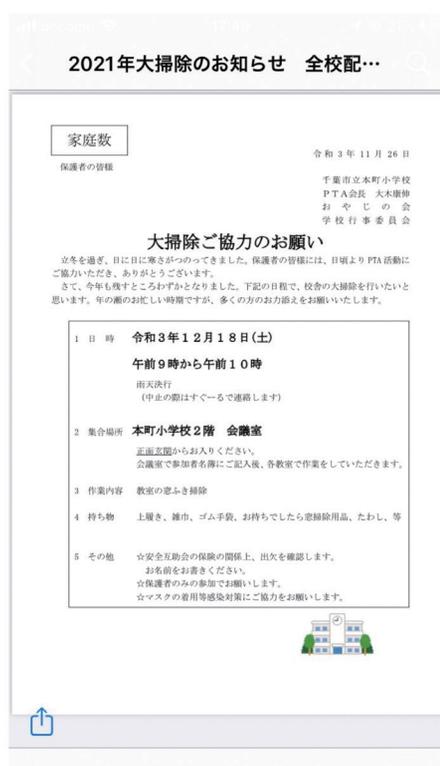
「kintone」トップページ



発行資料



行事予定



ペーパーレス化について

～無理・無駄なく、楽しいPTAの実現に向けて～

1. 現在のPTA活動の問題点

【令和元年度PTA活動見直しアンケートより】

・配布物の作成のために来校する必要がある

配布物の作成や先生方への確認依頼のために来校する必要がある。共働きの家庭では仕事の有給を取らねばならず、負担となっている。

・印刷に多額の経費がかかっている

配布物等の印刷に費用がかかっており、必要最低限の印刷がのぞまれる。

・情報共有をメール、LINE等で個別に行っている

各部毎にLINEのグループやメールでのやり取りを行っており、PTA全体の情報共有をはかるのが難しくなっている。

紙媒体を中心とした活動から、活動場所が制限されない
デジタル媒体を中心とした活動へのシフトが必要
(ペーパーレス化)

2. ペーパーレス化の試行導入

・サイボウズ社のグループウェア「kintone」を採用

サイボウズ社には非営利団体応援プログラムがあり、年間9,900円で900ユーザまで使用できる。これは、本校PTAの全会員数が使用するのに十分である。

また、当グループウェアは、いくつものPTAにて活用実績があり、サポートも受けることができる。

・まずはPTA役員と教職員（一部）で試行

今年度はPTAの全会員ではなく、PTA役員と教職員（一部）で試行を行う。

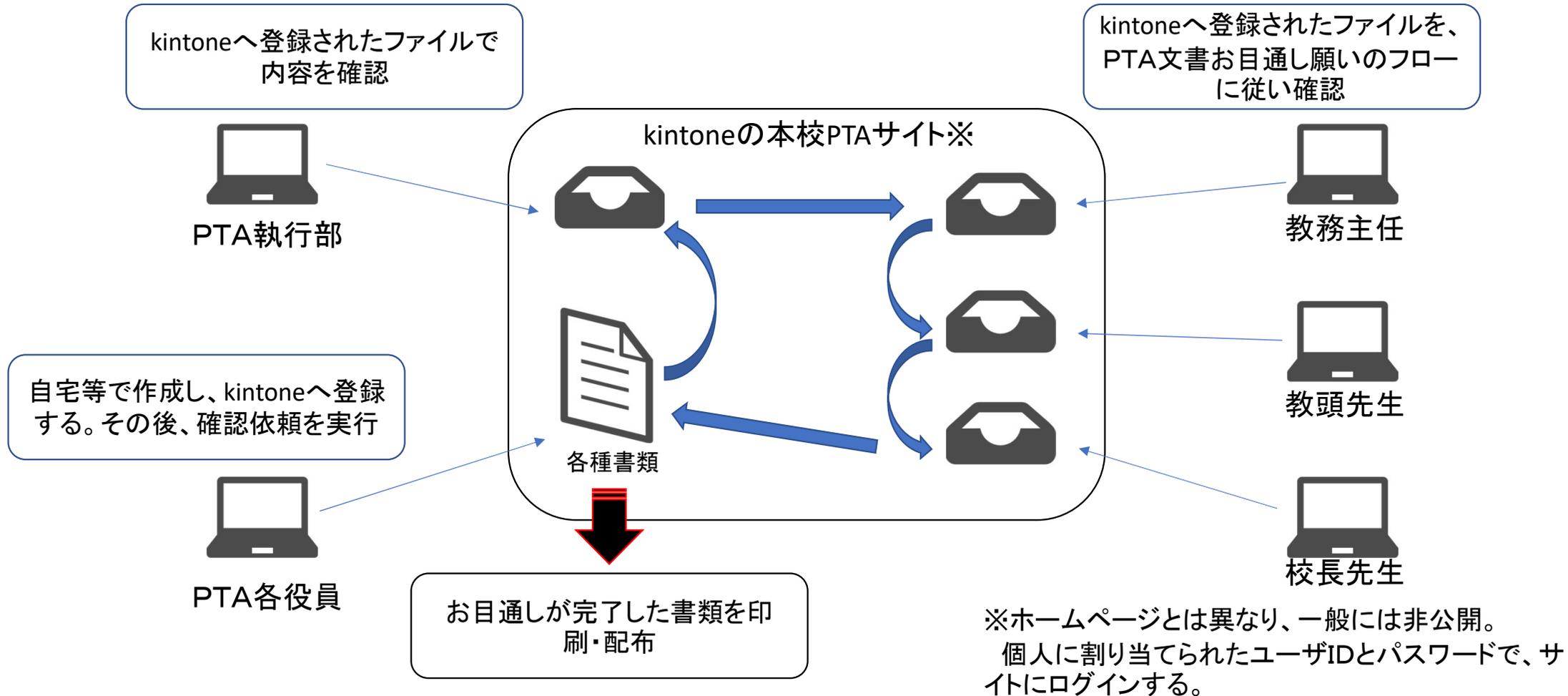
主な活用は以下のとおり。

- (1) PTA配布物の作成および確認作業
- (2) PTA理事会の会議資料および議事録の確認作業
- (3) PTA活動スケジュールの共有
- (4) PTA活動の出欠の確認

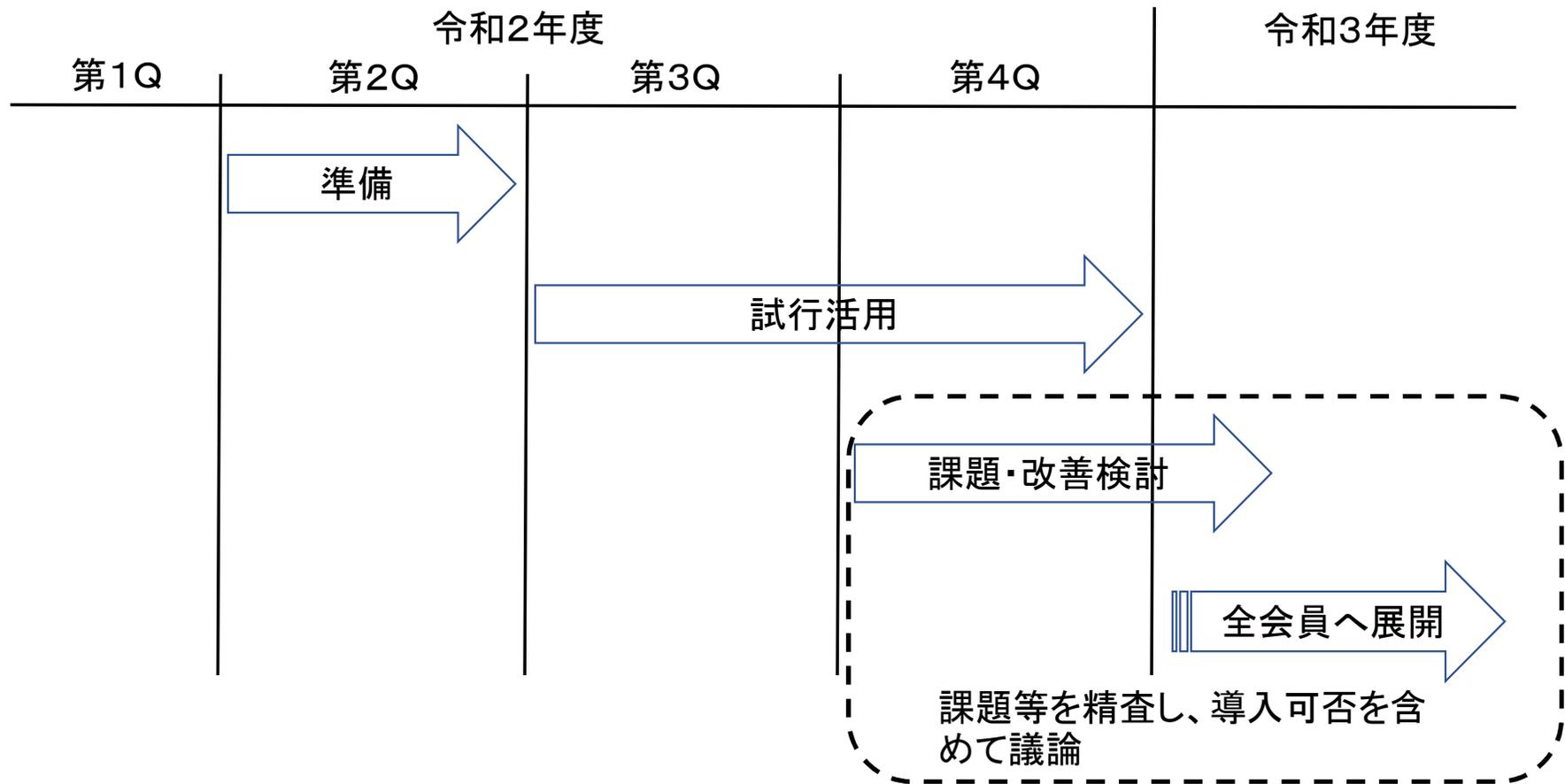
試行の結果を踏まえ、次年度にPTAの全会員へ展開（予定）

試行導入にて、問題点や改善箇所を洗い出し、本格導入を議論

3. kintoneの活用イメージ



4. 導入スケジュール(予定)



<ペーパーレスで使用するITツールの比較検討表>

ITツール	一般公開	ユーザ管理	スケジュール共有	ファイル共有	ワークフロー	費用	検討結果
ホームページ	○	△ ユーザー管理機能の作成が必要	△ プログラム等の作成が必要	△ プログラム等の作成が必要	△ プログラム等の作成が必要	サーバ代 6,000¥/年	PTAの情報を一般に発信するには向いているが、ペーパーレスの目的とは異なる。
サイボウズOffice	×	△ 300ユーザー	◎ 個人のスケジュールやPTA全体のスケジュールを共有可能	◎ 10世代前までの更新履歴あり	○	使用料 9,900¥/年	いわゆるグループウェア。各家庭ですべての機能を使用する必要はなし。最大ユーザー数に懸念あり。
サイボウズkintone	×	○ 900ユーザー	○ アプリでPTA活動のスケジュールを共有可能	○ アプリでファイル管理可能	○ アプリで実現可能	使用料 9,900¥/年	管理者がアプリを作成する必要があるものの、必要とする機能は満たしている。最大ユーザー数にも余裕がある。
LINE	×	○ 500ユーザー	×	×	×	無料	少人数の会話に適しており、必要とする機能の利用が困難。
Google	×	△ 各家庭でGoogleアカウントを取得	○ Googleカレンダーとなり、個人のスケジュール管理が中心	○ Googleドライブを使用	×	無料	Googleアカウントが中心になるので、各家庭でそれぞれ設定する必要があり、全家庭への展開に難あり。
Slack	×	○ 各家庭でアカウントを取得	×	×	×	無料	Slackの設定を各家庭で行う必要があり、全家庭への展開に難あり。